

# 「神戸みなと温泉 蓮」12月開業

## 隣には国際会議場や式場も



### 新港第1突堤の宿泊施設

ホテル運営会社「ラスイート」(大阪市)は、神戸港の新港第1突堤(神戸市中央区)に建設している宿泊施設の名称が「神戸みなと温泉 蓮」に決まったと発表した。全室オーシャンビューの温泉旅館で、隣接して建設中のコンベンション施設とともに今年12月に開業する予定。

同社によると、名称は神戸港に咲くハスの花をイメ

ーシ。ハスを支える無数の根を運営スタッフに見立て、丁寧なおもてなしを行うという意気込みも込められている。

旅館は10階建て。計90ある客室は全て50平方メートル以上で、いずれもテラスから海を望むことができる。最上階には神戸港が一望できる展望露天風呂とラウンジがある。風呂は宿泊者限定と日帰り利用できる2種類を

12月に開業が予定されている「神戸みなと温泉 蓮」(右奥)と「ラ・スイート神戸 オーシャンズガーデン」(手前)のイメージ図(ラスイート提供)

設け、岩盤浴なども整備する。隣接地には、国際会議場や結婚式場を備えたコンベンション施設「ラ・スイート神戸 オーシャンズガーデン」も建設中。チャペルが突堤の先端にあり、海

風を感じながら挙式できる。会議場は最大収容人数約700人で、平成28年の主要国首脳会議(サミット)の開催地誘致の起爆剤としての期待もかかる。

ホテルとコンベンション施設を合わせた総事業費は約75億円。同社は「利用者が『また来たい』と思える魅力的な施設を目指し、神戸の観光を盛り上げたい」としている。